とある花

夢音奏

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト
http://pdfnovels.net/

注意事項

このＰＤＦファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にＰＤＦ化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのＰＤＦファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
とある花

【Ｎコード】
Ｎ９８１３Ｄ

【作者名】
夢音奏

【あらすじ】
その花の由来。ドイツの民間伝承にある古い伝説。その花の名前の元になったエピソード…、超短編です。

Ｆｏｒｇｅｔ－ｍｅ－ｎｏｔ……

日本では、忘れな草って呼ばれている花の名前だ。
忘れな草には、ある伝説があるんだ。知っているかい？
もしも、きみが知っているのならこれ以上、読む必要はないのかもしれない…。

その昔、場所はドイツのドナウ川。
あたたかい日、昼下がりの午後…。
そのドナウ川のほとりに一組の若い男女がいた。　ふたりは恋人どうし、やわらかい光のなかで仲良く話をしていた。
とてもとても、ふたりは愛し合っていて将来を誓い合う仲であったという…。

「ねえ」

「なんだい？」

「このまま、ずっと一緒にいましょうね」

やわらかな午後の光を受けて、宝石のようになった彼女の瞳をやさしく見つめて、彼は静かに答えた。

「ああ…」

ふたりは、ドナウ川のほとりで草の上に腰をおろして、日がなそうやって話をしていた。

「ねえ」

「なんだい」

「言って…」

「なにを？」

「わかっているくせに」

「だから、なにを…」

「いじわる」

そんなふうに、ふたりは午後の日差しに揺れながら、あまく語り合っていた。

彼女がふと、何かを見つけ指を差して言った。

「あ、見て。あそこ、とっても綺麗な花が咲いているわ」

「え、どこだい？」

「ほら、もっと右よ」

「…ん、ああ、あの花か」

彼女が指差したその先には、いままでに見たことのない可愛らしい、小さな青い花が咲いていた。

「なんていう花かしら？」

「見たことのない花だ。そうだ、きみに取ってきてあげる」

「でも…、あそこは危ないわ」

その花が咲いているところは急斜面になっている場所で、そのうえ下は川の流れが激しくなっている。
もしも、落ちたら川岸に上がってくることはとても出来そうにない。

「あはは、大丈夫さ。きみの髪にさしたら、きっと似合うよ」

彼は笑いながらそう言って、彼女が止めるのをきかず、その花を取りに急斜面に向かって歩いていった……。

……その急斜面で体をななめにして、右手で落ちないように草につかまって、彼は彼女のために小さな青い花に左手を伸ばす。
下ではドナウの激流が、ごうごうと渦をまく。

「ああ、あぶない…、もうやめて」

彼女はハラハラとして、マリアに祈るようにそう言った。
だけど、彼は体をいっぱいに伸ばして、額に汗をかき、指で花をつかもうと必死になっている。

「あと…、少し…、そらっ、つかんだ！」

彼が花をつかんだ瞬間！

「ああっ！だめえ―」

彼女は叫んだ。

けれど、彼女の声もむなしく、彼はぐらっとなって、右手の草はちぎれて足場を失い、すべり落ちて川の中へ…。

「愛しいきみよ、さようなら、きみを幸せにできなくて…、ごめん…。だけど、ぼくを忘れないでください―」

彼は草の急斜面を転げ落ちながら、ドナウの激流にのまれながら、彼女に最後の言葉をそう言った。

「ああ、どうして…」

茫然として、その場に泣き崩れる彼女…。

泣き崩れた彼女の目の前にはなぜか、小さな青い花が、摘まれた状態で横に置いたようになっていた。
それは、彼が川に落ちてゆくときに最後の力をふりしぼり、彼女

に向けて投げていたからだった…。

そうして、ひとり残された彼女の両手のなかで、その花が小さくふるえていた。

ぼくを忘れないでください—

彼の最後の言葉とともに……。

以来、その名もなき花は洋名を《Ｆｏｒｇｅｔ－Ｍｅ－Ｎｏｔ》といい。
和名を《勿忘草》と呼ぶようになったという。

そして—

その花の、花言葉は…。

真実の愛。

ＰＤＦ小説ネット発足にあたって

ＰＤＦ小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は２００７年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にＰＤＦ形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのＰＤＦ小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能（たんのう）してください。

この小説の詳細については以下のＵＲＬをご覧ください。
http://ncode.syosetu.com/n9813d/

とある花

2010年12月31日20時10分発行